

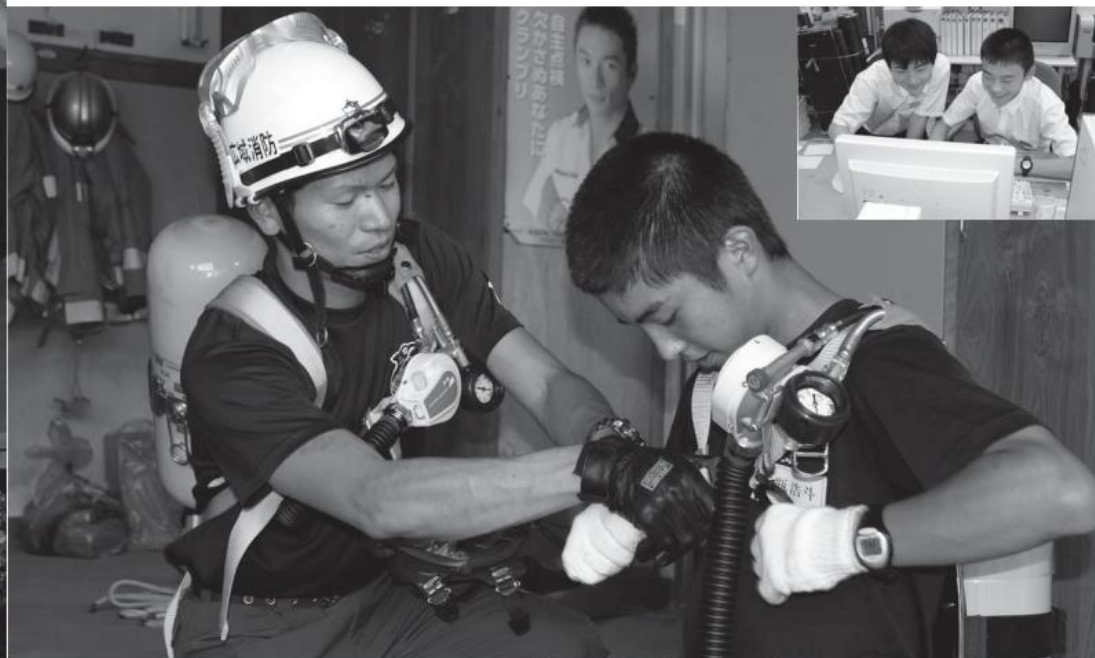
夢への第一歩

中学生の職場体験

9月11日から13日までの3日間、鮫川中学校の2年生33名が仕事について学ぶため、村内8か所の職場で職場体験を行いました。全員がこの職場体験を通して将来に役立つとても貴重な経験をしたと思います。今回は、役場で広報づくりを体験した青戸悠之介と藤田樹の2人がこの職場体験取材し、まとめました。



このページは
僕たちが
作りました



夢への第一歩

中学生の職場体験



このページは
僕たちが
作りました

学校給食センター

給食センターでは、四人の皆さんが献立作りや給食を作る手伝いをしていました。そのなかで、給食のすいとんを作っていた薄井歩さんと緑川春香さんは、「作る給食の量は多いですが、その割に人が少ないのでたくさん仕事があつて大変です。すいとん作りは大変ですが、とても楽しいです」とうれしそうに話してくれました。



まどか美容室



まどか美容室では、前田晃里さんと吉田咲さんが体験学習を行いました。マネキンを使って、カットやパーマの練習をしていました。そのなかで吉田咲さんは、「美容師は将来の夢の一つです。もし美容師になったら真弓さんのようになりたいです」と話してくれました。二人は、真弓さんが驚くほど上達が早かったです。

棚倉消防署鮫川分署

棚倉消防署鮫川分署には、四名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、基本を学ぶことや、訓練などをやりました。放水訓練や空気呼吸器着装訓練などを行った笹島綾人くんは、職員の話や聞き、そして、ほかの三人と楽しく訓練をやっていました。綾人くんは、「将来は、人をたくさん助けることのできる消防士になりたいです」と話してくれました。



さめがわこどもセンター



さめがわこどもセンターには、八名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、子どもの面倒をみる仕事の体験をしました。運動会の練習の手伝いをしてきた宗田真也くんは子どもたちに楽しく接している、子どもたちからも特に人気がありました。真也くんは、「ここでの目標は、子どもたちにたわむれられるようになることです」と話してくれました。

編集後記



藤田 樹



青戸悠之介

今回は役場の広報づくりで、取材や写真撮影、記事作成などの貴重な体験をさせていただきました。この体験をするまでは、本を何気なくとしか思っていないで、でも、やってみると、どれも楽しいながらも大変な仕事で、僕たちの読んでいる本は、こういうことがあつてできているということが改めてわかりました。今後にも、この経験を生かしていけたらと思います。今回は、本当にありがとうございました。

はじめ取材をやらせてもらうことになったときは、意外に簡単なんじゃないかと思いましたが、でも、やってみると、写真撮るのも難しかったし、インタビューも内容を考えたり、どんな質問がいいか考えたりするのがとても大変でした。大変だけど、いい写真が撮れたときやいい記事を書けたときなどはとてもうれしかったです。この経験を将来に生かせるようにしたいと思います。3日間、本当にありがとうございました。

手・まめ・館



手・まめ・館には、四名の皆さんが職場体験へ行きました。ここで、お店でやるいろんな仕事の体験をしました。二人で「きな粉」の袋詰めとシール貼りをしていた土手内那月くん和三瓶湧太くんは、楽しそうに職員と話しながら仕事をしていました。二人は、「将来の夢は、明るい店員さんになることです」と話してくれました。

鮫川小学校

鮫川小学校では、四人の皆さんが職場体験を行いました。三年生の授業では、湯坐彩香さんが、パソコンを使った授業でやさしそうにパソコンの使い方を教えていました。彩香さんは、「小学校のころの先生のようになりたいです」と話してくれました。将来は生徒のことがよくわかる先生になりたいです」と笑顔で話していました。



ひだまり荘



ひだまり荘では、四人の皆さんが職場体験を行いました。ここでは、お年寄りの方々と指の運動をしたり、ゲームをしたりしていました。そのなかで、ドライヤーでお年寄りの髪の毛を乾かしていた長井瑠香さんは、「介護の仕事に興味があります。お年寄りに笑顔でお話してくれると、とてもうれしいです」と話していました。